

# オクラの栽培について



## ◆ 定植◆

### (1) 定植準備

センチュウ類に弱いので、連作畑の場合は、土壤消毒を行う。施肥は、土壤消毒後2週間以上経ってから行う。

吸収力が強いので、基肥は有機系の肥料を中心に生育をみながら追肥を行う。

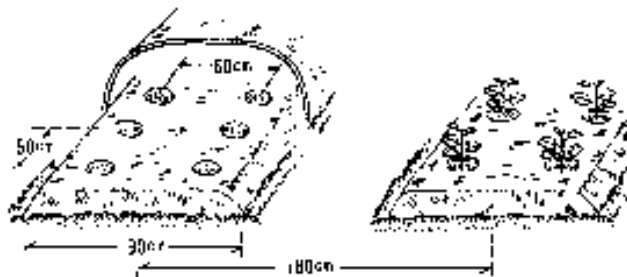
### 施肥例

1 a 当たり

肥料名	基肥	追肥
堆肥	200kg	
苦土石灰	20kg	
ようりん	10kg	
トリオ有機化成S808	10kg	
燐硝安加理S604		8kg

### (2) 栽植密度

うね幅180cm、条間50cm、株間30cmの2条植えの2本立ちとする。地温上昇と雑草抑制のため、黒マルチをする。



## ◆ 管理◆

### (1) 追肥

定植後10日から収穫最盛期まで数回に分けて追肥を行い、肥切れを起こさないようにする。



### (2) 適葉

古い葉は適除し、通風採光をよくする。

草勢が強いときは収穫果の下位節の葉を、弱いときは、下1~2葉を残して下葉をすべて切り取る。

### (3) かん水

小肥、小かん水では収量が上がらないので、高温乾燥期には適時かん水を行う。

#### ◆病害防除◆

高温多湿では、葉すす病が発生しやすく、トップジンM水和剤を1,500倍液で散布する。

#### ◆収穫◆

開花後4～6日後の若い莢を収穫する。莢の長さは8～10cm位のものがよい。莢の肥大は高温ほど早く、適期をすぎると莢が硬くなり品質が低下しますので、注意すること。

